

Y18b アストロバイオロジー分野についての認知度調査

日下部 展彦（アストロバイオロジーセンター），高梨 直紘（東京大学），平松 正顕（国立天文台），川越 至桜（東京大学），澤田 幸輝（和歌山大学），玉 澤 春史（京都市立芸術大学）

太陽系外惑星の研究の発展を受け、アストロバイオロジーという研究分野は天文学の研究業界では定着しつつある。一方で、一般市民においてアストロバイオロジーという研究分野がどの程度認知されているかという調査はほとんどない。今回、一般市民を対象に行った天文学に対する意識調査に合わせ、「アストロバイオロジー」という分野の認知度調査を実施したので、その結果について報告する。調査はオンラインのアンケート方式で実施し、20代から60代までの2000名からの解答を得た。このデータを元に、天文学と生物学の学際領域である「アストロバイオロジー」という研究分野が一般市民にどの程度浸透しているかを調査した。また、「アストロバイオロジー」分野の認知度について、天文教育普及関係者に対しても実施した。その結果、一般市民においては大半がアストロバイオロジーという分野をほとんど知らないという解答が大多数であったが、天文関係者の多くが知っているという結果が得られた。この調査により、まだ一般市民への新しい学問としての認知度は非常に低いということがわかった。今回のアンケートから、宇宙における生命を科学的に研究する「アストロバイオロジー」という分野を、どのように一般市民へ浸透させていくのが効果的かなどについても議論する。